第5次環境基本計画に掲げる成果指標・参考指標の状況等一覧

進捗状況(目標値を現状で達成すべき水準に按分した「目安」と「現状値」の比で記載)

達成率120%以上:◎、達成率100~120%:○

達成率90~100%:△、達成率90%未満:×

施策の	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の	推移	進捗状況
ネット・		成果	1	温室効果ガス排出量(県全体)	万 t -CO2	H25	5,903	R7	4327 ^{**1}	4,825 (R3)	4,852	5,903万 t -CO2	4,825万 t -CO2	0
ゼロカーボ、	省	成果	2	二酸化炭素排出量(産業)	万 t -CO2	H25	4,094	R7	3,100 ^{**1}	3,467 (R3)	3,431	基準年 4,094万 t -CO2 基準年	R3 3,467万 t -CO2	Δ
ン社会の実現	エネルギー	成果	3	二酸化炭素排出量(民生(業務))	万 t -CO2	H25	405	R7	215 ^{**1}	214 (R3)	278	405万 t -CO2 基準年	214万 t -CO2 R3	0
%に向けた地	対策等の推	成果	4	二酸化炭素排出量(運輸)	万 t -CO2	H25	613	R7	518 ^{Ж1}	515 (R3)	550	613万 t -CO2 • 基準年	515万 t -CO2 R3	0
球温暖化対	進	成果	5	二酸化炭素排出量(民生(家庭))	万 t -CO2	H25	579	R7	344 ^{ж1}	389 (R3)	422	579万 t -CO2 基準年	389万 t -CO2 R3	0
策の推進		成果	6	二酸化炭素排出量(廃棄物)	万 t -CO2	H25	45	R7	34 ^{※1}	42 (R3)	38	45万 t -CO2 ◆ 基準年	42万 t -CO2 R3	×

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
ネッ	省	参考	7	電力使用量(民生(業務))	ΙJ	H25	17,076	R7	11779 ^{ж1}	10,174 (R3)	13,545	17,076TJ 10,174TJ 基準年 R3	©
ト・ゼロカ	エネルギー	参考	8	次世代自動車導入割合	%	H30	17.8	R7	31 ^{**1}	27 (R5)	27	22.5% 24.6% 27.0% 17.8% 基準年 R3 R4 R5	0
l ボ ン 社 会	対策等の推	参考	9	電力使用量(家庭)	ΤJ	H25	23,711	R7	19474 ^{ж1}	21,188 (R3)	20,886	23,711TJ 21,188TJ 基準年 R3	Δ
の実現に向	進	成果	10	その他ガス排出量	万 t -CO2	H25	167	R7	117 ^{**1}	200 (R3)	134	200万 t -CO2 167万 t -CO2 基準年 R3	×
け た 地 球 温	再生可能	成果	11	太陽光発電設備導入容量	千kW	R1	1,359	R7	1,669	1,875 (R5)	1,566	1,828千kW 1,359千kW 1,680千kW 基準年 R3 R4 R5	0
暖化対策の…	エネルギーの	成果	12	バイオマス発電設備導入容量	千kW	R1	128	R7	128	280 (R5)	128	280千kW 280千kW 280千kW 128千kW 基準年 R3 R4 R5	0
進	· 導入 促 進	成果	13	廃棄物発電設備導入容量	千kW	R1	68	R7	68	72 (R5)	68	74千kW 72千kW 72千kW 72千kW 基準年 R3 R4 R5	0

施策(の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
ネッ	カ ボ	成果	14	二酸化炭素の回収・再利用に係る研究開発事業の数	件	R2	5	R7	現状値より増加	12	5 ^{**2}	12件 12件 12件 5件 5件 基準年 R3 R4 R5 R6	0
ト・ゼロカ	ン サ イ ク ル	成果	15	二酸化炭素の回収・再利用に係る実用化件数の数	件	R2	1	R7	現状値より増加	2	1	2件 2件 2件 1件 1件 基準年 R3 R4 R5 R6	©
l ボン 社 会	推進	成果	16	手入れ不足人工林の間伐面積	ha	R1	617	R7	1,050	878	978	828ha 857ha 835ha 878ha 基準年 R3 R4 R5 R6	×
の実現に向	気 候 変	参考	17	気候変動適応策の認知度	%	R3	18.2	R7	現状値より増加	10.9	18.2	18.2% 18.2% 16.7% 10.9% 15.4% R5 R6	×
けた地球温	多動を見据え	参考	18	避難の準備行動ができている人の割合	%	R1	13.6 ^{**3}	R7	50	15.7 ^{**4}	44.0	13.6% 15.7% 9.9% 8.4% 4% 基準年 R3 R4 R5 R6	×
暖化対策の地	た 適 応 先 の	参考	19	河川氾濫により床上浸水が想定される家屋数 ^{※5}	戸	R2	約18,000	R7	約16,700	約16,500	*6	約18,000戸 約17,000戸 約16,500戸 基準年 R3 R4 R5 R6	*6
進	推進	参考	20	土砂災害から保全される家屋数	戸	R2	約116,000	R7	約129,000	約131,000	*6	約131,000戸 約123,000戸 約116,000戸 約119,000戸 基準年 R3 R4 R5 R6	*6

施策	 の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
		成果	21	一般廃棄物排出量	万 t	H30	92.9	R7	89.1	84.3 (R5)	90.2	92.9万t 89.4万t 87.5万t 84.3万	
		成果	22	一般廃棄物再生利用率	%	H30	31.8	R7	32.5	35.2 (R5)	32.3	基準年 R3 R4 R5 31.8% 31.8% 基準年 R3 R4 R5	0
	資源循環	成果	23	一般廃棄物最終処分率	%	H30	12.7	R7	12.2	9.8 (R5)	12.3	12.7% 10.7% 10.3% 9.8% 基準年 R3 R4 R5	0
循 環 型 社	サイクルを拡	成果	24	産業廃棄物排出量	万t	H30	1,465	R7	1,453	1,212 (R5)	1,456	1,465万t 1,341万t 1,317万t 基準年 R3 R4 R5	īt O
会の実現	大 さ せ た 社	成果	25	産業廃棄物再生利用率	%	H30	74.9	R7	75.5	73.9 (R5)	75.3	74.9% 72.7% 72.0% 基準年 R3 R4 R5	Δ
	会づくり	成果	26	産業廃棄物最終処分率	%	H30	2.3	R7	1.9	1.6 (R5)	2.0	2.3% 2.2% 2.2% 1.6% 基準年 R3 R4 R5	©
		成果	27	がれき類の再生利用率	%	H30	90.2	R7	94.2	94.0 (R5)	93.1	92.3% 92.4% 94.0% 基準年 R3 R4 R5	0
		成果	28	廃プラスチック類の再生利用率	%	H30	64.3	R7	76.4	79.2 (R5)	72.9	79.2% 64.3% 68.3% 69.2% 基準年 R3 R4 R5	0

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
循	適正かつ効率	成果	29	市町における災害廃棄物初動マニュアルの策定 ^{※7}	自治体数	R1	12	R7	23	23	23	21 23 23 23 23 12 基準年 R3 R4 R5 R6	0
環型社会の実	える社会づく的・安定的な	成果	30	電子マニフェスト普及率	%	H30	51.5	R7	80	66.7	75.9	58.5% 61.2% 65.7% 66.7% 51.5% 基準年 R3 R4 R5 R6	×
現	りの発生を発生を	成果	31	産業廃棄物の不法投棄件数(10t以上)	件	H27-R1平均	2.6	R7	2	1	2.1	2.6件 3件 1件 0件 0件 基準年 R3 R4 R5 R6	0
		成果	32	環境基準達成率:二酸化硫黄	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
地	良好	成果	33	環境基準達成率:一酸化炭素	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
域環境の保	な大気環境の	成果	34	環境基準達成率:二酸化窒素	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
全	確保	成果	35	環境基準達成率:浮遊粒子状物質	%	R1	100	R7	100	100	100	型字中 R3 R4 R5 R6	0
		成果	36	環境基準達成率:ベンゼン	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
		成果	37	環境基準達成率:ジクロロメタン	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100%	0
	良好	成果	38	環境基準達成率:一般地域における騒音	%	R1	91.9	R7	現状値より増加	95.6	91.9	基準年 R3 R4 R5 R6 91.9% 95.6% 88.9% 91.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
	な大気環境の	成果	39	環境基準達成率:道路に面する地域における騒音	%	R1	84.6	R7	現状値より増加	89.9	84.6	93% 91.9% 84.6% 基準年 R3 R4 R5 R6	
地域環境	確保	成果	40	環境基準達成率:航空機騒音	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
境の保全		成果	41	環境基準達成率:新幹線鉄道騒音	%	R1	50	R7	現状値より増加	75	50	63.6% 75% 50% 54.5% 75% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
	健全ない	成果	42	環境基準達成率:重金属等有害物質	%	R1	100	R7	100	100	100	→ → → → → 100% 100% 100% 99.9% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
	水環境の保へ	成果	43	環境基準達成率:河川BOD	%	R1	92.7	R7	現状値より増加	93.9	92.7	92.7% 93.9% 92.7% 92.7% 93.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
	・管理	成果	44	環境基準達成率:海域COD	%	R1	42.9	R7	現状値より増加	35.7	42.9	42.9% 35.7% 35.7% 28.6% 基準年 R3 R4 R5 R6	×

施策(の構成	指標区分 番	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
		成果 4	45	環境基準達成率:海域全窒素	%	R1	89	R7	現状値より増加	88.9	88.9	88.9% 88.9% 88.9% 88.9% 88.9% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
		成果	46	環境基準達成率:海域全りん	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
地	健全なれ	成果 4	47	環境基準達成率:地下水	%	R1	81.6	R7	現状値より増加	89.8	81.6	87.8% 92.0% 89.4% 89.8% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
域環境の保	水環境の保全	参考 (48	COD汚濁負荷量(瀬戸内海水域):生活系COD	t/日	R1	15	R6	13	14 (R5)	13.8	15t/日 15t/日 14t/日 14t/日 基準年 R3 R4 R5	Δ
全	・管理	参考	49	COD汚濁負荷量(瀬戸内海水域):産業系COD	t/日	R1	20	R6	20	16 (R5)	20	20t/日 18t/日 17t/日 16t/日 基準年 R3 R4 R5	0
		参考	50	COD汚濁負荷量(瀬戸内海水域):その他COD	t/日	R1	7	R6	7	6 (R5)	7	7t/日 6t/日 6t/日 6t/日 基準年 R3 R4 R5	0
		参考	51	汚水処理人口普及率	%	R1	88.8	R7	92.8	91.0	91.7	88.8% 89.8% 90.3% 90.7% 91.0% 基準年 R3 R4 R5 R6	

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
		成果		環境基準達成率:ダイオキシン類(大気)	%	R1	100	R7	100	100	100	100% 100% 100% 100% 100%	0
	化学物質	成果	53	環境基準達成率:ダイオキシン類(公共用水域)	%	R1	100	R7	100	100	100	基準年 R3 R4 R5 R6 100% 100% 100% 100% 100% 基準年 R3 R4 R5 R6	0
	による健康な	成果	54	環境基準達成率:ダイオキシン類(土壌)	%	R1	100	R7	100	100	100	型半年 R3 R4 R5 R6	0
地域環境	なリスクの把	参考	55	事業者によるダイオキシン自主測定の排出基準適合率	%	R1	100	R7	100	98.5	100.0	100% 100% 98.4% 98.7% 98.5% 基準年 R3 R4 R5 R6	Δ
場の保全	握・土壌環	参考	56	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量: 大気 ^{*8}	t/年	H30	6,102	R7	現状値より削減	4,213 (R5)	6,102	6,102t/年 5,323t/年 5,024t/年 4,213t/年 基準年 R3 R4 R5	0
	境の保全	参考	57	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量: 公共用水域 ^{※8}	t/年	H30	217	R7	現状値より削減	216 (R5)	217	223t/年 216t/年 217t/年 217t/年 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	0
		参考	58	化管法に基づく指定化学物質の環境への届出排出量: 埋立処分 ^{※8}	t/年	H30	2,324	R7	現状値より削減	578 (R5)	2,324	1,698t/年 2,324t/年 1,561t/年 578t/年 基準年 R3 R4 R5	0
	出防止対策ごみの海洋流	成果	59	3品目(ペットボトル、プラスチックボトル、レジ 袋)の海岸漂着物量	t	R1	8.4	R7	7.9	1.5	8.0	8.4t 5.1t 3.3t 2.7t 基準年 R3 R4 R5 R6	0

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
地域環	地域環境の	成果		水質汚染事故発生件数	件	R1	147	R7	現状値より減少	96	147	147件 124件 100件 基準年 R3 R4 R5 R6	©
境 の 保 全	維持・向上	成果	61	緑地環境保全地域面積	ha	R1	818	R7	現状値より増加	818	818	基準年 R3 R4 R5 R6	0
		成果	62	自然公園等利用者数	千人	R1	9,642	R7	現状値より増加	8,271	9,642	9,642千人 8,289千人 8,289千人 4,936千人 基準年 R3 R4 R5 R6	×
自然	自	参考	63	県自然環境保全地域面積	ha	R1	2,054	R7	2,054	2,054	2,054	2,054ha 2,054ha 2,054ha 2,054ha 2,054ha 基準年 R3 R4 R5 R6	0
環境と生	然資源の持	参考	64	自然公園面積	ha	R1	37,857	R7	37,857	37,857	37,857	37,857ha 37,857ha 37,857ha 37,857ha 37,857ha 37,857ha 基準年 R3 R4 R5 R6	0
物多様性の促	続可能な利	参考	65	自然海浜保全地区面積(陸域)	ha	R1	17	R7	17	17	17	17ha 17ha 17ha 17ha 17ha 基準年 R3 R4 R5 R6	0
保全	用	参考	66	森林ボランティア参加者数	Д	R1	78,108	R7	現状値より増加	54,066	78,108	71,648人 60,163人 78,108人 38,454人 54,066人 基準年 R3 R4 R5 R6	×
		参考	67	アマモ場,ガラモ場等の造成面積	ha	R1	26.2	R7	46	45.8	43	37.4ha 40.2ha 43.0ha 45.8ha 26.2ha 基準年 R3 R4 R5 R6	0

施策	の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
自		成果		レッドデータブックひろしま掲載数	種	_	_	_	_	1,161	_	_	_
然環境と生物	生態系の健人	参考	69	自然観察会等への参加者数	人/年	R1	6,296	R7	6,000	3,944	6,000	6,296人/年 5,745人/年 5,753人/年 5,362人/年 基準年 R3 R4 R5 R6	×
物多様性の保	全な維持管理	参考	70	特定鳥獣保護管理計画に基づく特定鳥獣の個体群管 理:イノシシの捕獲数	頭/年	R1	29,531	R7	35,000以上	23,326 ^{**9}	35,000	33,064頭/年 29,531頭/年 29,905頭/年 29,905頭/年 23,326頭/年 基準年 R3 R4 R5 R6	×
全	生 	参考	71	特定鳥獣保護管理計画に基づく特定鳥獣の個体群管 理:ツキノワグマの除去数	頭/年	R1	189	R7	135以内	533 ^{×10}	135	533頭/年 257頭/年 289頭/年 137頭/年 基準年 R3 R4 R5 R6	×
環境負荷	環境学習・	成果	72	環境保全活動に取り組んでいる県民の割合	%	R2	59.9	R5	65	69.8 ^{ж11} (R5)	65.0	59.9% 69.8% ※3年に1度の調査 基準年 R5	0
の少ない社へ	等の推進自主的な環	参考	73	環境学習講師派遣学習会の受講者数	人	R2	113	R7	700	792	700	1,295人 928人 792人 113人 640人 基準年 R3 R4 R5 R6	0
・づくり会を支える人	環境関連	成果	74	環境・エネルギー分野の付加価値額	億円	R1	684	R7	892	850 (R5)	822.7	896億円 917億円 850億円 684億円 基準年 R3 R4 R5	0
づ く り ・	産業の振興	成果	75	環境・エネルギー分野の取組企業数	社	R1	127	R7	170	155 (R5)	155.7	149社 155社 127社 基準年 R3 R4 R5	Δ

施策(の構成	指標区分	番号	指標項目	単位	基準年	基準値	目標年	目標値	現状値	目安	数値の推移	進捗状況
環境負荷		成果	76	ひろしま地球環境フォーラム会員のうち, SDGsと関連 付けて事業活動を行っている事業者の割合	%	R1	29.7	R7	75	67.4	70.0	53.8% 57.8% 63.5% 67.4% 29.7% 基準年 R3 R4 R5 R6	Δ
仕組みずの少ない社会	環境配慮の仕	参考	77	環境経営やSDGsに関するセミナー等受講事業者数	人	R2	65	R7	80	112	80	107人 115人 123人 112人 65人 基準年 R3 R4 R5 R6	©
づくりるを支える人	組みづくり	成果	78	県の事務事業で排出される温室効果ガス排出量	t -CO2	H25	149,985 ^{**12}	R12	67,493	96,836 ^{ж13}	96,608	149,985 t-CO2	Δ
づ く り ・		参考	79	県のグリーン購入率	%	R1	88.3	R7	100	80.8	98.1	88.3% 90.6% 92.7% 87.4% 80.8% 基準年 R3 R4 R5 R6	×

- ※1 「広島県地球温暖化防止地域計画」に定める目標値
- ※2 国のカーボンリサイクル関連予算を活用した技術開発のうち、大崎上島町の実証研究拠点化に係るもの(CO2分離回収技術を含む累計)
- ※3 「令和元年度防災・減災に関する県民意識調査」において、「広島県「みんなで減災」県民そうぐるみ運動計画」で掲げる5つの行動目標をすべて実施していると回答した人の割合
- ※4 ※3に、「マイタイムラインの作成」も要件に追加
- ※5 河川毎に計画規模(年超過確率1/10~1/100)の洪水を想定
- ※6 事業効果が発揮されるまでに一定の期間を要すること等から、指標の達成率については目標年度で評価する。なお、各年度の進捗状況については、「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン アクションプラン」に掲げる KPIにより管理している。
- ※7 R3の達成を目標としていたが、R3は未達。R4に達成した。以降も全市町が参加する研修・訓練等を通じて、マニュアルの継続的な見直しを実施
- ※8 現状値は、令和5年度の届出対象物質の見直し後も継続して指定された319物質の排出量
- ※9 速報値
- ※10 広島県、島根県、山口県の合計
- ※11 県政世論調査で3年に1度、調査
- ※12 県営水道事業が広島県水道広域連合企業団へ以降したことを受け、当該温室効果ガス排出量を差し引いた値
- ※13 県庁本庁舎における再エネ電力の調達の効果を反映した排出量。なお、基礎排出係数を用いて算定した排出量は102,272t-CO2